

洗足学園音楽大学・大学院演奏会における 新型コロナウイルス感染症拡大予防ガイドライン

2021年4月15日

このガイドラインは、「クラシック音楽公演における新型コロナウイルス感染拡大予防ガイドライン（令和2年6月11日）等」を参考とし、演奏会を実施する場合における本学の基本的な対策を記載したものです。公演再開に際して、以下のように感染防止対策を講じてまいります。

本ガイドラインの内容は、本学が主催する演奏会においては、教職員・学生のほか、本学内施設管理者とその従事者・本学が依頼するすべての者及び来場されるお客様に遵守していただくものとします。

なお、今後の新型コロナウイルス感染症対策に関わる基本方針の改訂などがあった場合、必要に応じ適宜改定を行うものいたします。

感染防止のために取り組む基本的事項

1. 来場者への対応

(1) 来場制限条件の周知。以下の症状のある方は、ご来場いただけません。

- ・37℃以上の発熱がある方、発熱が続いている方
 - ・風邪の症状（発熱、咳、くしゃみ、喉の痛み等）がある方
 - ・強いだるさ（全身倦怠感）や息苦しさ（呼吸困難）がある方
 - ・その他体調に不安がある方（味覚・嗅覚障害、目の痛みや結膜の充血、頭痛、関節痛、下痢、吐き気等）
 - ・新型コロナウイルス感染症陽性とされた方との濃厚接触がある方
 - ・過去2週間以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国・地域への訪問歴及び当該在住者との濃厚接触がある方
- ※基礎疾患（糖尿病・心不全・呼吸器疾患等）がある方、妊娠中の方は、医師の判断や関係機関の情報を確認の上、慎重なご判断をお願いします。

(2) 来場者に対し、以下の事項についてご協力をお願いします。

- ・上記入場制限条件への同意
- ・来場者情報の提供（※クラスター対策として）
- ・マスク着用の徹底（マスク着用無しの入場不可。施設内でのマスク着用必須）
- ・こまめな手指消毒・手洗い・咳エチケットの励行
- ・ソーシャルディスタンスの確保
- ・大人数での来場を控えること
- ・大声や対面でも会話を控えること
- ・施設内飲食禁止（個人の水分補給分は除く）
- ・楽屋面会禁止
- ・花束、プレゼントの持ち込み禁止
- ・演奏者への声援を控え、拍手のみとすること

(3)公演当日の対応

①公演施設入口

- ・大学正門での非接触型検温を行う。
- ・入・退場者が滞留しないためのアナウンスをし、ソーシャルディスタンスを確保してもらう。
- ・チケット確認は接触をさける対応を行う。紙のチケットの場合はスタッフが目視で行い、来場者が半券を切り、所定の場所に入れる。
- ・プログラムは来場者がQRコードにて取得する電子プログラムを用いる。座席表など用紙の配付が必要な際は、所定の場所に設置し各自で取っていただく。
- ・会場案内は口頭での案内を控える。
- ・プレゼント・花束等の差し入れは預からない。

②施設内

- ・冷水器、ごみ箱、休憩用ソファやテーブルは使用禁止とする。
- ・ロビー等でのソーシャルディスタンスの確保、および大声での会話を控えていただく。

③客席

- ・座席の最前列付近は、舞台上の実演者から適切な距離を確保するよう努める。
- ・全席指定席による人数制限を行い、感染予防措置がとれる席配置に努める。

④換気

- ・開場、休憩中は扉を開け、換気を行う。

⑤公演終了後

- ・退場時のソーシャルディスタンスの確保を周知する。
- ・出演者による見送りはしない。
- ・楽屋口での出待ちはお断りする。

⑥感染が疑われる人が出た時の対応

- ・対応スタッフはマスクや手袋を着用する。
- ・速やかに保健室スタッフに連絡し、指示を受け対応する。必要に応じて医療機関に連絡する。
- ・保健所等公的機関による聞き取りに協力し、出演者・来場者・関係者の氏名及び連絡先を把握し、名簿を作成する等、必要な情報提供を速やかに行えるよう体制を整えておく。
- ・スタッフによって取得した個人情報は漏洩することがないように十分な対策を講じておく。

2. 出演者・スタッフの公演現場での対応

(1)基本的な予防対策

- ①日常生活において出演者・スタッフは感染予防対策として以下のことを徹底する。
 - ・マスクの着用と咳エチケットを実践する。

- ・こまめな手指消毒と手洗いを実行する。
- ・健康管理に努める。
- ・当ガイドライン1, (1)に該当する出演者・スタッフは、医師または関係機関に相談し、その判断に基づき出演等の可否を決定する。

(2) 演目・プログラムの対策

- ①舞台上のスペースに対して、全ての演奏者は適切な距離を保持し、近距離で向かい合うスタイルは避ける。
- ②舞台上出演者の位置から客席最前列までに適切な距離を置く、または同等の効果が得られる措置を取るよう努める。
- ③客席から演奏者の登場は禁止。その逆も同様。
- ④感染防止対策がどの程度実施できるかを踏まえて演目・プログラムを検討するようにする。

(3) リハーサル・本番時の対応

- ①会場入りする際の密集を避けるため、分散して入館する。
- ②舞台袖等に消毒アルコールを設置し、こまめな手洗い消毒を促す。
- ③スタッフは常時マスクを着用。舞台備品を運搬する際は転換時も含めマスクと手袋を着用する。
- ④会場への搬出搬入、舞台上での椅子、楽器譜面台その他備品のセッティングと転換、回収に際しては、不特定多数が触れることを避け、人数を最小限に抑えたうえで、時間的余裕をもって行う。
- ⑤使用機材、備品(マイクなど)の使用後の消毒をする。
- ⑥演奏に支障がない範囲で換気をまめに行う。
- ⑦配布物がある場合は、場所を決めて積み置きをし、各自で取ることとする。
- ⑧楽屋は定期的な換気を行い、予め部屋毎に人数を制限した割り振りを設定する。
楽屋での飲食はできるだけお互いの距離を保ち、ごみは各自持ち帰る。
- ⑨リハーサル中、公演中共に、飛沫防止対策として可能な限りマスク等の着用をする。
- ⑩管楽器内の水滴処理は、以下の通り徹底する。
 - ・水抜きの際は給水シートに受け、床には垂らさない。
 - ・楽器内の水を受けた給水シートは専用回収袋を準備し、回収する。
- ⑪物品販売は禁止する。

(4) 公演終了後の対応

- ①花束・プレゼントの受け取りはしない。お客様見送りも行わない。
- ②楽屋面会は受け付けない。
- ③公演後は控室・楽屋に長居せず、速やかに片づけ・支度を済ませ退出する。
- ④出演・関係者等による打ち上げやパーティ等の禁止